

安全データシート

作成:2025年 3月27日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH204-00
製品名 : クリアシーブ乳剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1
	皮膚感作性	: 区分1
	誤えん有害性	: 区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・皮膚刺激
- ・重篤な眼の損傷
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

(S)-2-クロロ-N-(2, 4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アセトアミド／一般名：ジメテナミドP
 3-[(5-ジフルオロメトキシ)-1-メチル-3-(トリフルオロメチル)ピラゾール-4-イルメチルスルフォニル]-4, 5-ジヒドロ
 -5, 5-ジメチル-1, 2-オキサゾール／一般名：ピロキサスルホン
 3-(3, 4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素／一般名：リニュロン

		(W/W)
成分及び含有量：	ジメテナミドP	7.2 %
	ピロキサスルホン	1.2 %
	リニュロン	9.6 %
	ソルベントナフサ(石油ナフサ)	27.0 %
	ナフタレン	0.3 %
<その他>	界面活性剤、有機溶剤等	54.7 %
	計	100.0 %

化学式：
 ジメテナミドP／ $C_{12}H_{18}ClNO_2S$
 ピロキサスルホン／ $C_{12}H_{14}F_5N_3O_4S$
 リニュロン／ $C_9H_{10}Cl_2N_2O_2$
 ソルベントナフサ(石油ナフサ)／特定不可能
 ナフタレン／ $C_{10}H_8$

官報公示整理番号：安衛法	ジメテナミドP	8-(6)-291	
	ピロキサスルホン	8-(7)-1432	
	リニュロン	4-(13)-44	
	化審法	リニュロン	3-2193
	ソルベントナフサ(石油ナフサ)	9-1691	
	ナフタレン	4-311	

CAS RN [®]	163515-14-8	／ジメテナミドP
	447399-55-5	／ピロキサスルホン
	330-55-2	／リニュロン
	64742-94-5	／ソルベントナフサ(石油ナフサ)

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の洗眼が遅れたり、不十分な場合は目に損傷が発生することがある。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。揮発した蒸気は吸入しないよう注意する。製品には有機溶剤が含まれているため、火気に注意する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場所へ移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所へ移動し、直ちに医療措置を受ける。無理に吐き出させるとかえって危険が増すこともあるため、水でよく口の中を洗わせてもよい。乳剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

5. 火災時の措置

消火方法：粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移す。

適切な消火剤：霧状の強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末(りん酸塩類、炭酸水素塩類)を放射する消火器、乾燥砂、膨張する石又は膨張真珠岩等

使ってはならない消火剤：棒状放水

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：取り扱いには換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。発生した蒸気を吸い込まないようにし、取り扱いの都度、容器を密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。粉塵を発生させない。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。電気機器類は防爆型(安全増型)のものを用いる。工具は火花防止型のものを用いる。

保管上の注意：通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

製品：未設定

成分：ナフタレン 10ppm(特化則特定第2類物質、特別管理物質)

許容濃度(日本産業衛生学会 2024年度)

成分：未設定

許容濃度(ACGIH 2025年)

成分：ジメテナミドP TLV-TWA 0.2mg/m³(Inhalable fraction and vapor)

成分:ナフタレン TLV-TWA 10ppm (Skin)

設備対策:取り扱いについては、局所排気内または全体換気装置のある場所で取り扱う。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具 呼吸用保護具:適切な防じんマスク、防毒マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク、農業用マスク等)

保護手袋:ゴム手袋(ブチルゴム、フッ素ゴム/ブチルゴム、多層フィルム(直鎖低密度ポリエチレンラミネートフィルム)等の素材を推奨)

保護眼鏡:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣:長袖作業着、帽子、保護服(不浸透性)、保護クリーム等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 可乳化油状液体
色	: 黄色透明
臭い	: データなし。
pH	: データなし。
融点/凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし。
引火点	: 128 °C(クリーブランド開放式)
自然発火点	: データなし。
可燃性	: データなし。
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし。
相対ガス密度	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度及び/又は相対密度	: 1.00g/cm ³ (20°C)
溶解度	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし。
粘度	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし。
化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀	300-2,000 mg/kg	「区分4」
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀	>2,000 mg/kg	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:ガス)	: GHS分類上の気体ではない。		「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし。		「分類できない」
急性毒性(吸入:粉じん/ミスト)	: データ不足。		「分類できない」
	(参考)ジメテナミドP: ラット LC ₅₀ : >5.16mg/L		
	(参考)ピロキサスルホン: ラット LC ₅₀ : >6.56mg/L		
	(参考)リニユロン: ラット LC ₅₀ : 218mg/L		
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ 強度刺激性、14日間で完全に回復しない。		「区分2」

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 強度刺激性、21日間で完全に回復しない。「区分1」 (参考)散布用200倍水希釈液は「区分に該当しない」。
呼吸器感作性	: データ不足。「分類できない」
皮膚感作性	: モルモット(Buehler法) 陽性。「区分1」
生殖細胞変異原性	: データ不足。「分類できない」 (参考)ピロキサスルホン: <i>in vitro</i> での復帰変異原性試験、 染色体異常試験及び <i>in vivo</i> でのマウス骨髄小核 試験は陰性。
発がん性	: データ不足。「分類できない」 (参考)ピロキサスルホン: ラット(♂)での2年間の発ガン性 試験で膀胱への移行上皮乳頭腫の増加が観察 されたが、データ不足により「分類できない」の評価。
生殖毒性	: データ不足。「分類できない」 (参考)ピロキサスルホン: ラットの1世代及び2世代生殖 毒性試験で、親動物への一般毒性が発現する 用量において、胚及び生殖能への影響は見られず 「区分に該当しない」の評価。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足。「分類できない」 (参考)ピロキサスルホン: ラット急性毒性試験において、 特定標的臓器毒性を示唆する影響は観察され なかったことから「区分に該当しない」の評価。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足。「分類できない」 区分2に分類される成分を含むが、混合物中にカットオフ値 /濃度限界未満であり分類できない。
誤えん有害性	: 以下の理由による。「区分1」 混合物として動粘性率のデータはないが、区分1に分類 される成分を混合物中にカットオフ値/濃度限界以上含む。

12. 環境影響情報

水生環境有害性

混合物のデータなし。混合物中に含有されている成分の利用可能なデータに基づき、水生環境有害性 短期(急性)及び長期(慢性)は「区分1」とした。

生態毒性

魚	: 混合物データなし。
甲殻類	: 混合物データなし。
藻類	: 混合物データなし。

【ジメテナミドP】

藻類	緑藻(<i>Selenastrum</i>)	: ErC ₅₀ (0-72時間)	0.029 mg/l (農薬抄録)
	緑藻(<i>Selenastrum</i>)	: NOEC (0-72時間)	0.0096 mg/l (農薬抄録)

【ピロキサスルホン】

藻類	緑藻(<i>P. subcapitata</i>)	: ErC ₅₀ (0-72時間)	0.00074 mg/l (環境省評価書)
	緑藻(<i>P. subcapitata</i>)	: NOEC (0-72時間)	0.00040 mg/l (環境省評価書)

【リニュロン】

藻類	緑藻(<i>Selenastrum</i>)	: ErC ₅₀ (0-72時間)	0.035 mg/l (環境省評価書)
魚	ニジマス	: NOEC (80日間)	< 0.042 mg/l (NITE GHS分類)

残留性・分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壌中の移動性	: データなし。
オゾン層への有害性	: データなし。「分類できない」

その他 : 水産動物に影響を及ぼすので、養魚池周辺での使用には注意する。
除草剤であり、植物に影響がある。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

国際規制

国連番号(UN number) : 3082
国連輸送名(Proper shipping name) : 環境有害物質(液体) N.O.S.
(ジメテナミドP、ピロキサスルホン、リニュロン混合物)
国連分類(Class) : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ



海洋汚染物質(Marine pollutant) : 該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

農薬取締法 : 該当

消防法 : 第4類第3石油類(水溶性液体)

労働安全衛生法

有機則 第3種有機溶剤 : コールタールナフサ(ソルベントナフサを含む)

施行令第18条、第18条の2(表示、通知対象物質)

: リニュロン(9.6%)(政令番号249の3)

コールタールナフサ(27.0%)(政令番号175)

【2025年4月1日以降】

リニュロン(9.6%)(安衛則別表第2の827)

コールタールナフサ(27.0%)(安衛則別表第2の590)

ジメテナミドP(7.2%)(安衛則別表第2の499)

施行令第18条、第18条の2(通知対象物質)

: ナフタレン(0.3%)(政令番号408)

【2025年4月1日以降】

ナフタレン(0.3%)(安衛則別表第2の958)

安衛則第594条の2(不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務)

: 皮膚刺激性有害物質 ジメテナミドP(7.2%)

強い変異原性が認められた化学物質 : ナフタレン(2004/08/27通達 別紙2-4)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定化学物質 613号 ジメテナミドP(7.2%)
 第一種指定化学物質 174号 リニユロン(9.6%)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

船舶安全法 : 危規則第2, 3条危険物告示別表第1:有害性物質

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1:その他の有害物件

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
 : 海洋汚染物質

水質汚濁防止法 : 非該当

土壌汚染対策法 : 非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:

- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
- 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
- 3) GHS文書 改訂第6版(2015年)
- 4) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
- 5) 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会2024年度)
- 6) 2025 TLVs[®]&BEIs[®](ACGIH)
- 7) 「農薬抄録」、「農薬評価書」(FAMICホームページ)
- 8) 資材メーカー提供「安全データシート」
- 9) NITE-CHIRP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。